

本年度の結果

| | 数学A | 数学B |
|-----|------|------|
| 阿蘇市 | 61 | 45 |
| 全国 | 64.6 | 48.1 |

| 数学A | 数と式 | 図形 | 関数 | 資料の活用 |
|-----|------|------|------|-------|
| 阿蘇市 | 66.1 | 61.9 | 55.1 | 52.6 |
| 全国 | 70.4 | 66.0 | 57.4 | 57.6 |

| 数学B | 数学的思考方 | 数学的な技能 | 知識・理解 |
|-----|--------|--------|-------|
| 阿蘇市 | 34.3 | 57.2 | 83.3 |
| 全国 | 36.8 | 61.2 | 85.1 |

本年度の主な結果について

- 分数の乗法の計算、簡単な一元一次方程式を解くこと、平行移動した図形をかくこと、比例の式についてxの値に対応するyの値を求めることなどは改善が見られた。
- 関数の意味の理解、扇形の弧の長さを求めること、資料の傾向を的確に捉え判断の理由を数学的な表現を用いて説明することなど根拠を明らかにして筋道立てて説明することに課題がある。

成果と課題

学力調査から

±は全国平均正答率との差

【定着している内容】

- $(2x+5y)-(6x-3y)$ を計算すること(A2(3))
- $\triangle ABC$ を、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかくこと(A4(2))
- 与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ること(B3(1))

【課題】

数と式

- 数量の関係を文字式に表すこと(A2(1))
- 数量関係を一元一次方程式で表すこと(A3(2))
- 事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること(B2(3))

図形

- 扇形の弧の長さを求めることができること(A4(3))
- 2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明すること(B1(2))

関数

- 関数の意味を理解していること(A9)
- 反比例の表から比例定数を求めること(A10(3))
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること(B3(2))
- 与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求めること(B3(3))

資料の活用

- 与えられた度数分布についてある階級の相対度数を求めること(A14(2))
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること(B5(3))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 数学の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思う。
- 数学の勉強は大切だと思う。

【課題】

- 数学の授業の内容は分かる、数学ができるようになりたい。
- 公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている。
- 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 数学的な見方や考え方を働かせて、数量や図形の関係を数学的活動や生活場面と関連させながら理解させる。
- 様々な問題を数学を活用して解決できるように、問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いる能力を培う。
- わかる・できる・使える力を高めるため評価問題を作成し終末にさせ達成感をもたせる。

【日常的な取組】

- 授業づくりの6つのポイントによる授業改善やICT機器の効果的な活用を行う。
- バブルチャートの結果を基に、少人数指導やTT指導等で基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導を行い、底辺の生徒の底上げを行う。

【家庭学習等】

- 授業内容に応じた課題を与え、自学学習の充実を進めるとともに、ゆうチャレンジ問題、単元別評価問題、全学調や県学調の過去問題等を与え、家庭と連携して行う。